

製品出荷基準（抜粋）

対象製品： RFEM2400 無線モジュール搭載無線ネットワーク製品

設定日付： 平成 29 年 2 月 11 日

担当部門： アールエフエッジ

本書は MDTW 製品及び PDAT1 型製品の製造用要領書に記載された事項を抜粋して構成されています。 先ずは標準品の出荷検査手順を説明する。

1. 品質試験（電気特性検査） 標準書番号 RFE-MDTW5-TEST

①測定子機の第1通電検査

測定箇所 12 点+GND の電圧を測定し、合否判定をする

②測定子機の第2通電検査

無線モジュールに通電をし測定箇所 12 点の電圧を測定し、合否判定をする。

③無線親機の通電試験

親機に通電を行い、測定箇所 3 点の電圧を測定し、合否判定を行う。

2. 品質検査（無線通信検査） 標準書番号 RFE-MDTW5-SET

①無線親機の初期化

専用ソフトウェアを用いて無線親機を初期化し、情報が正しく受信できるか確認する。

②測定子機の初期化

専用ソフトウェアを用いて無線親機と勇心させ、情報が正しく受信できるか確認する。

③無線親機と測定子機へ必要情報を書き込む

指定された情報を無線で書き込み、正しく書き込めたか確認する。

3. 無線通信監査 標準書番号 RFE-MDTW5-TEST

①基礎機能検査

予め指定されている命令をパソコン→無線親機→測定子機に送り、返信内容を見てネットワークが正しく作動しているかを確認する。命令は指定されている命令全てに対して少なくとも1度行う

②ランニング検査

測定子機に次に示す信号供給源を接続し、無線ネットワークを構成させ、標準ソフトウェアを用いてシステムを一定の時間繰り返してランニングを行う。

- ・ 信号供給源の種類

MDTA5 型の場合は当社標準の K 型熱電対を用いる

PDAT1 型の場合は当社開発の専用電圧発生装置を用いる

- ・ ランニングの条件

1 日平均 8 時間稼働させる。

7日間繰り返す。

最後に半導体に発熱や破損が無いことを確認する。

4. 認定ラベルの貼り付け 標準書番号 RFE-MDTW5-PACK

①製品ラベルの貼り付け

一連の品質試験及び設定試験に合格した測定子機及び無線親機には当社指定書式のラベルが筐体裏側に貼り付けられる。指定書式には次のものが含まれる

- ・ 製品の種類
- ・ 製品ロット番号
- ・ 製造年及び期

②工事設計認証（技適）ラベルの貼り付け

無線モジュール RFEM2400 上に認定番号(14-0001)を記載したラベルを貼る。

特注品の検査基準

特注品を受注する際に発行する開発仕様書に検査基準の記載があり、その基準に基づいて検査を行う。

検査結果の保管と開示

- ①検査結果は原則検査完了日から記載して 10 年間 PC ファイルとして保管する。
- ②検査記録開示要求があった場合はその装置の購入者のみに開示する。

以上